



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

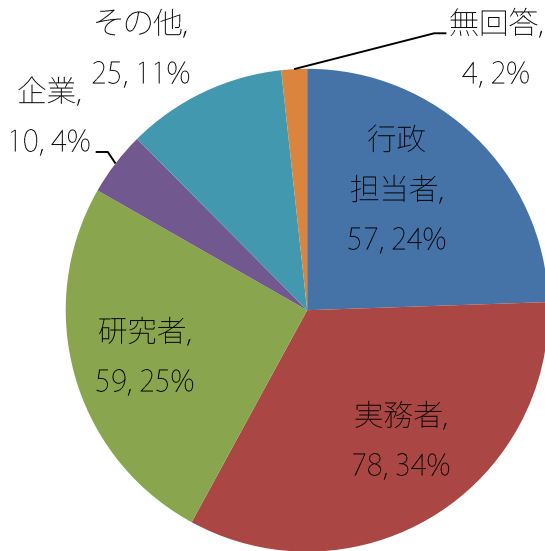
平成23年度 特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会 意識調査 実施報告

調査票配布日	2011年8月5日（ヤマトメール便利用）
集計締切日(集計日)	2011年8月29日
配布方法	郵送およびWebページに調査票フォームを掲載
回収方法	返信用封筒による郵送及びメール添付送付
設問数	27問
調査票郵送件数	337件
調査票配布数	902件
調査票回収数	233件（内訳：メール返信 22件、郵送返信 211件）
集計担当	JACR事務局

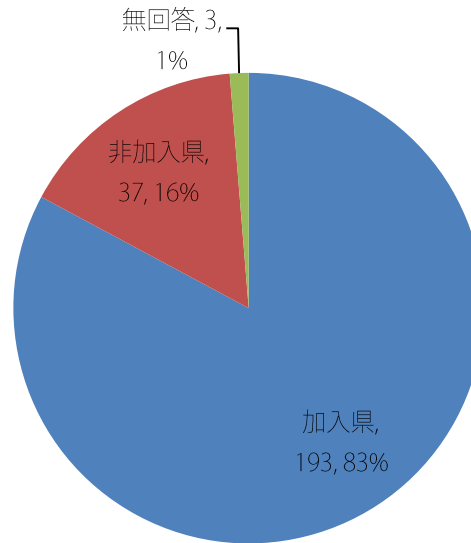


回答者について

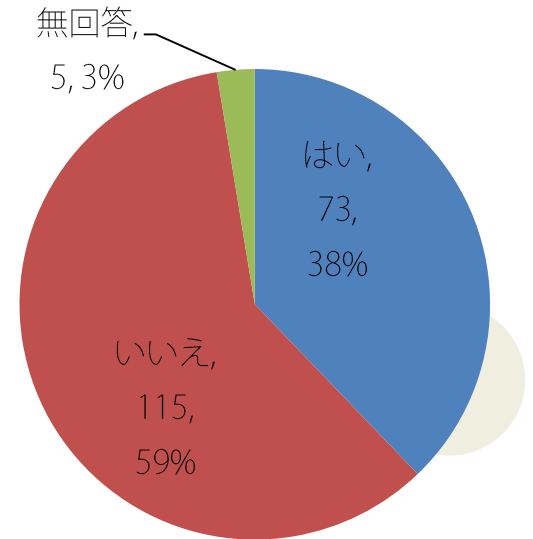
職種属性



協議会に加入していますか?



会員名簿に掲載されていますか?



職種属性	加入県 (193)	非加入県 (37)	無回答 (3)
行政担当者(57)	51	5	1
実務者(78)	69	9	1
研究者(59)	46	13	0
企業(10)	10	0	0
その他(25)	15	10	0
無回答(4)	2	0	2

職種属性	登録 (73)	非登録 (115)	無回答 (5)
行政担当者(57)	36	14	1
実務者(78)	14	54	1
研究者(59)	18	26	2
企業(10)	1	8	1
その他(25)	4	11	0
無回答(4)	0	2	0

学術集会について (1)

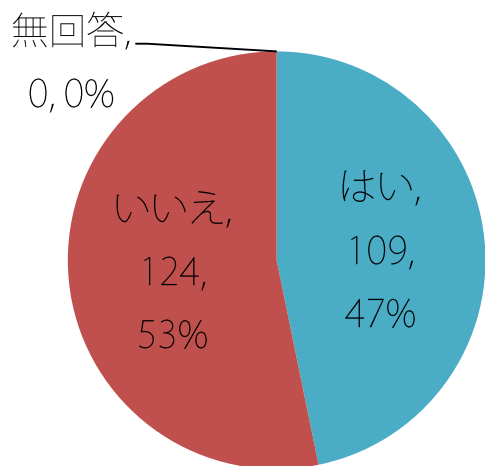


特定非営利活動法人

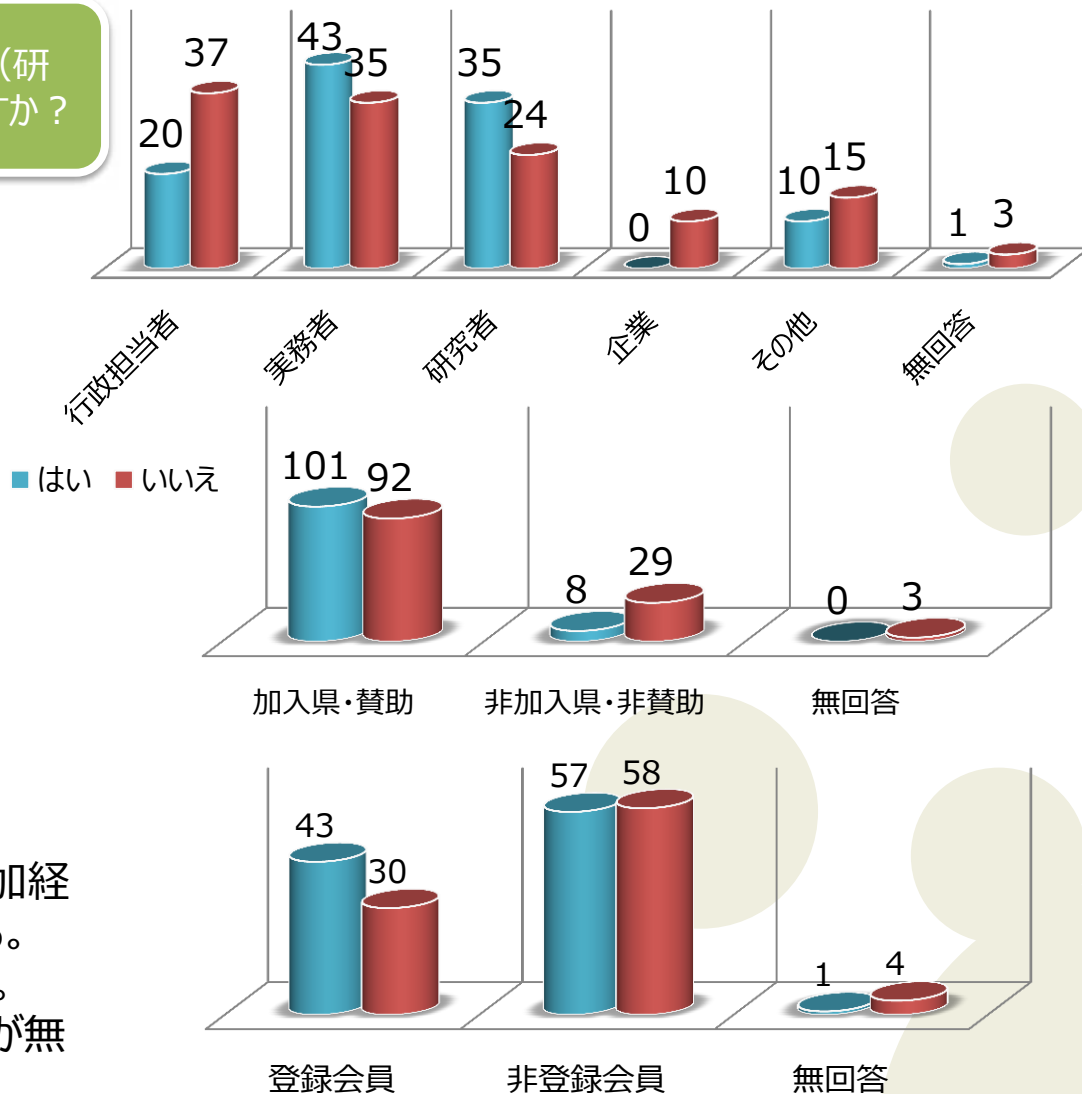
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問1. これまでに協議会主催の学術集会（研究会）や講演会等に参加したことがありますか？



参加経験は、回答者の50%未満。
 行政担当者においては、6割以上が参加経験がなく、参加経験者数を大きく上回る。
 賛助会員においては、参加経験者ゼロ。
 参加/不参加に、登録・非登録は関連が無いように思われる。



学術集会について (2)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

(問1で、はい、と回答した方のみにお聞きします)
 問2. 参加した学術集会（研究会）、講演会等は有益でしたか？ また、どのような点が有益でしたか？ つぎの選択肢からあてはまるものを選んでください。（複数選択可）

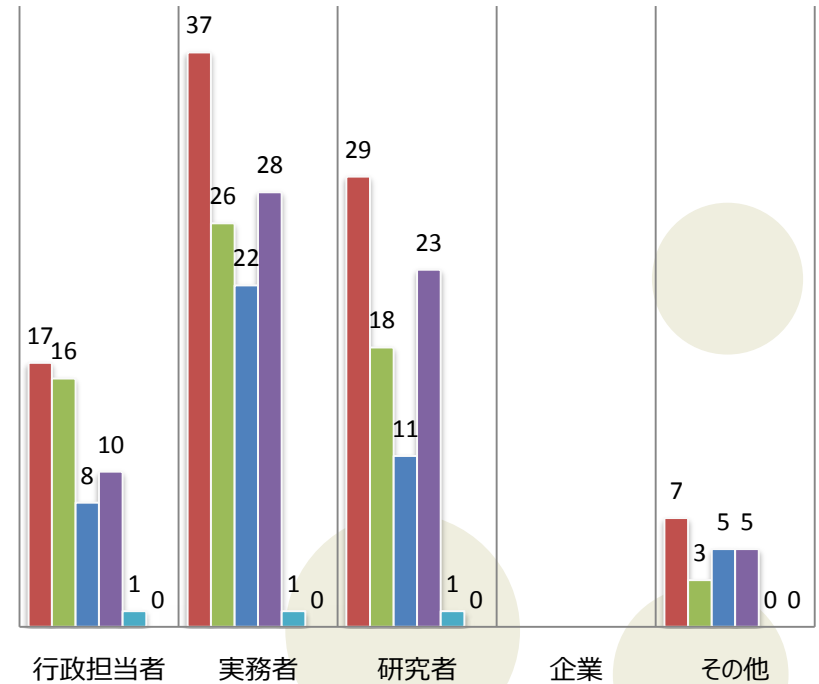
地域がん登録における様々な情報が得られて有益だった,
 91

全国の地域がん登録関係者と交流が持てたので有益だった,
 67

地域がん登録事業の様々な取り組みを知ることができ有益だった,
 63

実務者講習会など専門的な知識が得られる機会があり有益だった,
 47

その他, 3



- 1 地域がん登録における様々な情報が得られて有益だった
- 2 地域がん登録事業の様々な取り組みを知ることができ有益だった
- 3 実務者講習会など専門的な知識が得られる機会があり有益だった
- 4 全国の地域がん登録関係者と交流が持てたので有益だった
- 5 その他
- 6 役に立たなかった

学術集会について (3)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問15.協議会ではがん登録に関する学術集会、セミナー、公開講演会等を通じ関係者及び一般市民が地域がん登録についての知見を深めるための活動を行ってきましたが、今後はどのようなセミナーや講演会があるといいとお考えですか。つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

がん登録に関する現状や課題を自由に討論できる会、

120

がん登録に関する市民公開講座、

116

行政担当者集会、

75

世界の地域がん登録情報が得られる講演会、

71

その他、

16

特になし、

11

- がん登録の結果ががん検診に果たす役割をもっと市民に！
- 登録室職員(not研究者)が参加できる統計セミナー
- 一般開業医向けの講演会
- 地域がん登録の件数増に向けた医療関係者向けセミナー
- ピンクリボンをはじめとして市民主体の活動団体との協賛等はないのでしょうか？
- 地域の医師、病院等への啓もう活動
- 登録データの行政における有効活用事例報告会
- がん登録データを用いた学術的研究について深める内容
- がんの部位別頻度についてわかりやすい説明会
- 立法府への働きかけ
- 県の実情にあった技術支援
- 各地区ごとの担当者集会、情報交換
- 院内がん登録担当に向けたセミナー・交流会等。地域がん登録担当者院内がん登録研修会等受講者は多いがその逆は少なく登録の違いに関する認識が薄い
- がん登録関連情報を基に地域のがんの現状や課題を討議する会
- がん統計・疫学のセミナー

- あるとよいとは思いますが実施主体は国がんでも祖父江班の実施でも協議会でもよい。
- 協議会自体の意義が不明
- 国がんでの研修があるため
- 現在の活動もあまりよく知らないため、現在行っている活動の普及が重要では？
- 国がん主催の会議で足りる

Newsletterについて (1)

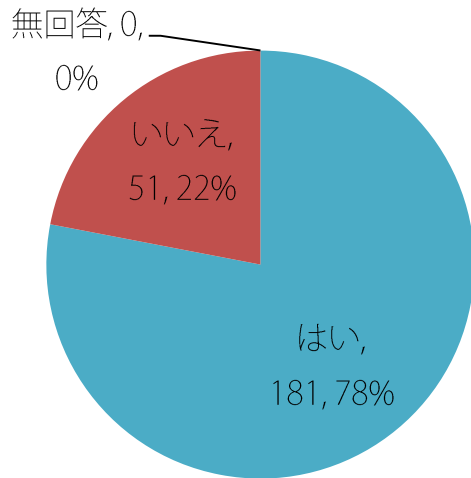


特定非営利活動法人

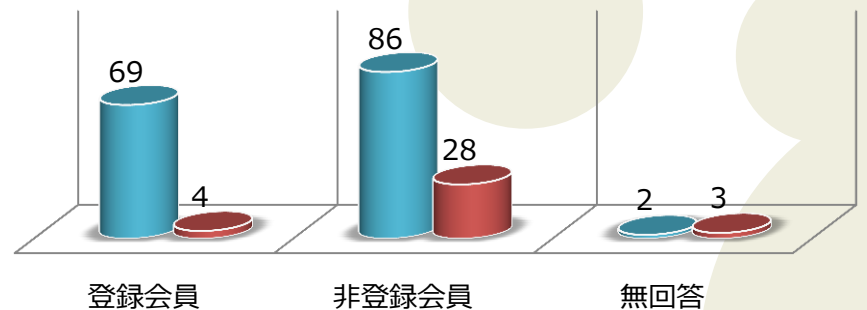
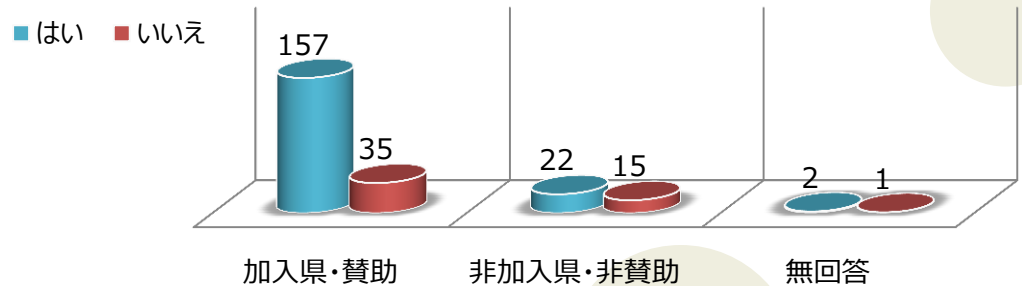
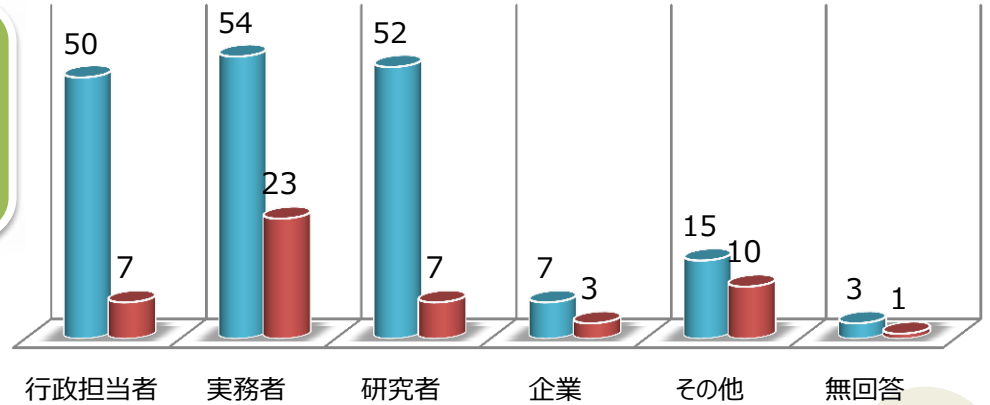
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問3. 協議会では、年2回機関誌『JACR Newsletter』を発行し、地域がん登録に関する最新の情報を発信しています。これまでに、『JACR Newsletter』を読んだことがありますか？



回答者の80%弱がNLを読んだ経験があると回答。加入・非加入、登録・非登録にかかわらず、NLは情報配信に有益な媒体であると読み取れる。一方、4名の登録会員が、読んだことがない、と回答。



Newsletterについて (2)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

(問3で、はい、と回答した方のみにお聞きします)

問4. 今までに読んだことのある『JACR Newsletter』の情報は役に立ちましたか？ また、どのような点が役立ちましたか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

協議会の総会や学術集会の開催情報,

67

地域がん登録に関する研究班の成果,

63

他県の地域がん登録室の情報,

47

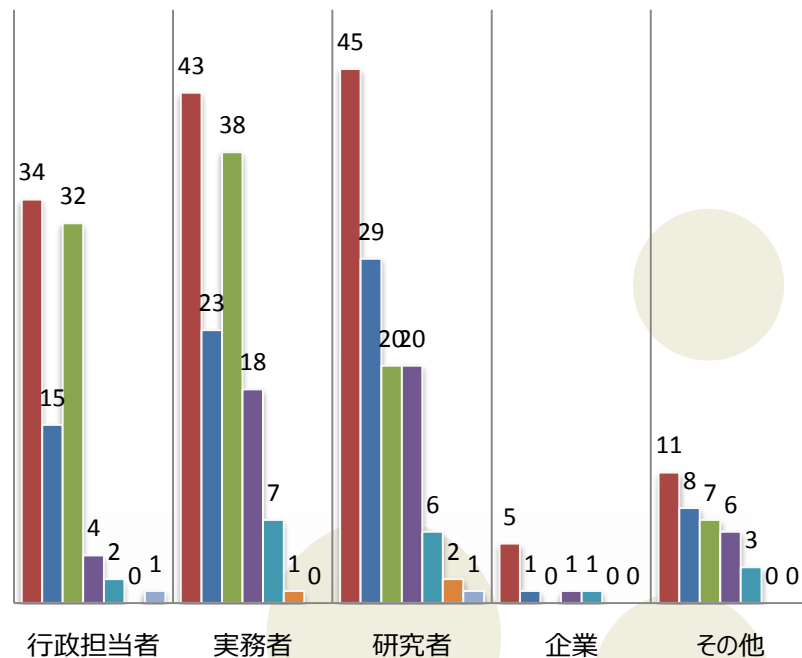
関連学会一覧,

3

その他,

3

- ・地域がん登録の個人情報の扱いの経過や法的根拠など事務の者への説明する資料づくりに役立った
- ・海外学会の参加レポート
- ・関心のある研究についての情報



- 1 地域がん登録に関する様々な情報
- 2 地域がん登録に関する研究班の成果
- 3 他県の地域がん登録室の情報
- 4 協議会の総会や学術集会の開催情報
- 5 関連学会一覧
- 6 その他
- 7 役に立たなかった

Newsletterについて (3)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問16.協議会が7月と2月の年2回発行する『JACR Newsletter』の持つ機能として、期待することは何ですか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。（複数選択可）

国内各県の地域がん登録事業の全般的動向や情報がわかる専門紙
163

会員の情報を主に取り扱い、情報交換や通信ができる機関紙
93

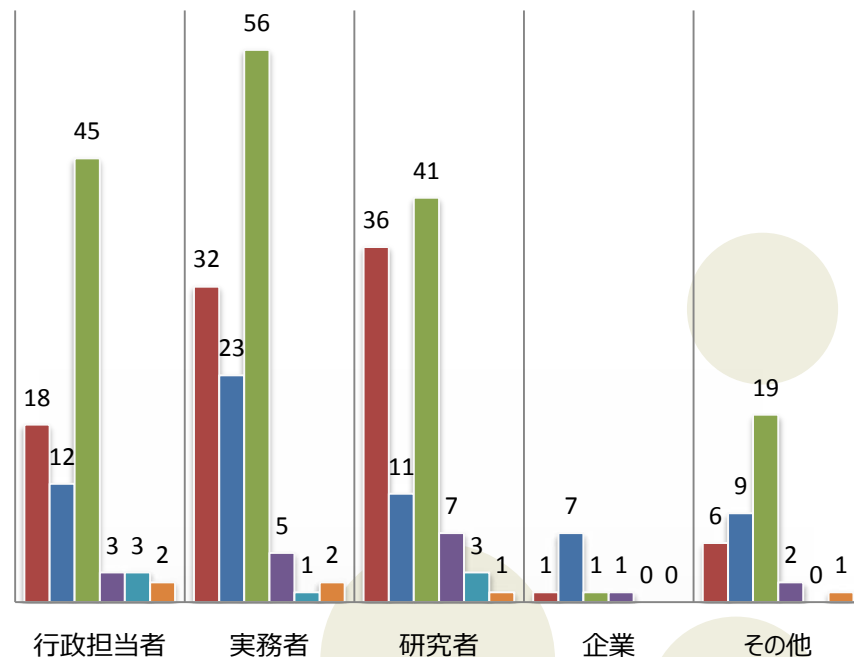
一般市民に対する地域がん登録事業の広報紙
63

その他
7

特にない
7

- 会員の情報交換や通信については、ウェブサイトを利用するとい
- 病院関係者向けの地域がん登録への協力依頼
- 国の動向
- 一般市民はもとより届出協力頂く医療機関にも広く地域がん登録に関する情報がわかり協支援体制がとれるような機関紙
- 地域がん登録に関する学術面、実務面でのトピックスの紹介
- がん登録事業の活性化につながる情報提供

- 見たことがないのでわからない
- 必要性に疑問
- JACR Newsletter 知らないです。



- 1 会員の情報を主に取り扱い、情報交換や通信ができる機関紙
- 2 一般市民に対する地域がん登録事業の広報紙
- 3 国内各県の地域がん登録事業の全般的動向や情報がわかる専門紙
- 4 がん登録に特化した研究者のための学術紙
- 5 その他
- 6 特にない

Webサイトについて (1)

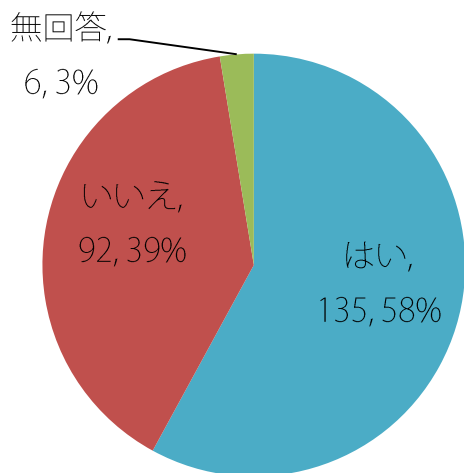


特定非営利活動法人

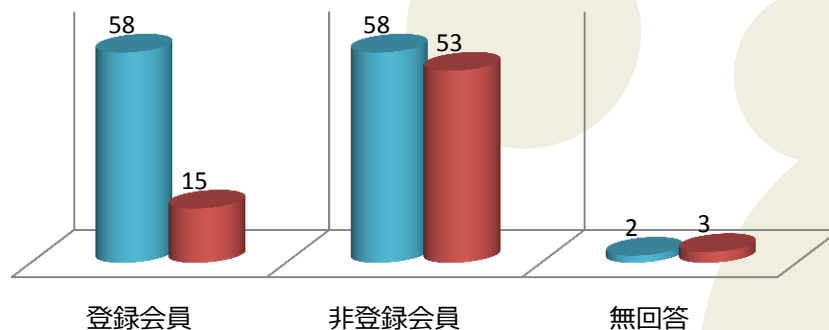
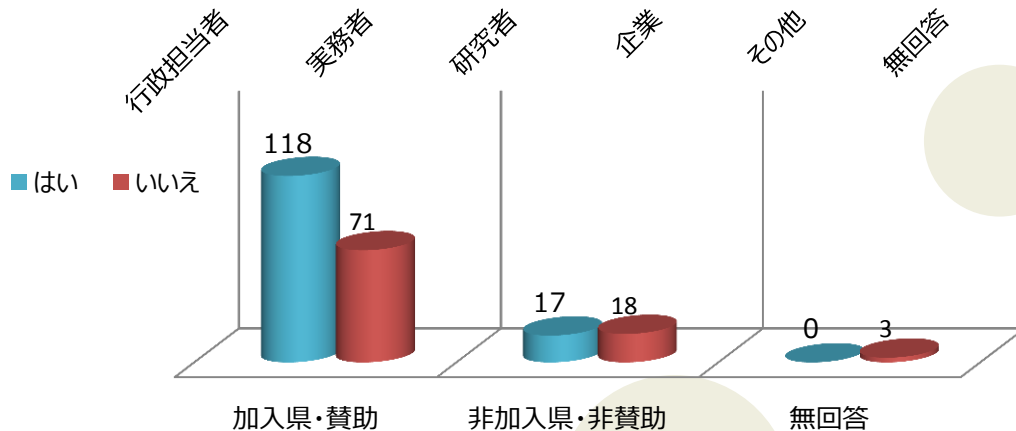
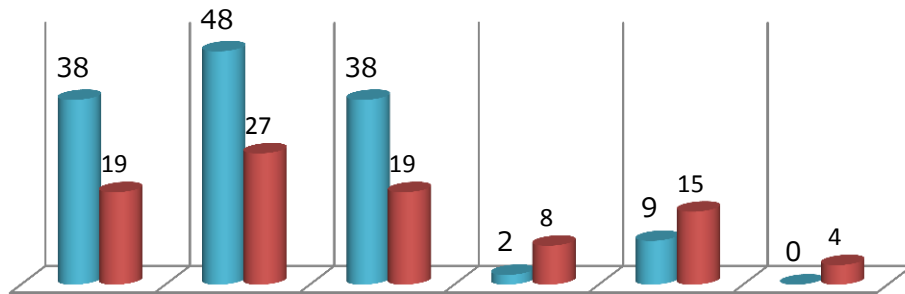
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問5.協議会では一般市民が地域がん登録についての知見を深めるためにも、ウェブサイト (<http://www.jacr.info/>) を通じて地域がん登録の関連情報を発信しています。これまでに、協議会のウェブサイトをご覧したことがありますか？



NPO法人化以来、Webサイトによる情報発信には特に力を注いでいるが、閲覧率は60%弱と、決して高い率とは言えない。企業やその他の閲覧率が低いことから、登録室関係者以外の一般利用が少ないと推測する。



Webサイトについて (2)



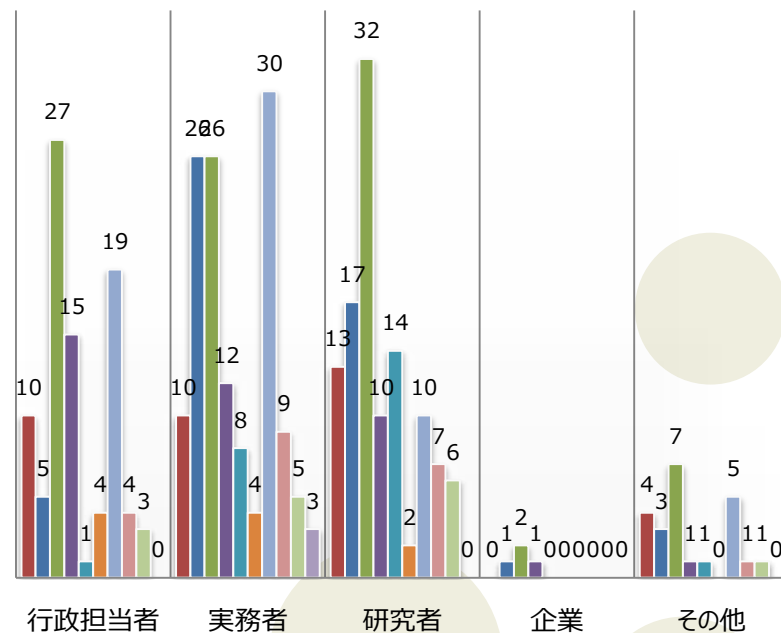
特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

(問5で、はい、と回答した方のみにお聞きします)
 問6. 今までに閲覧したことのある協議会ウェブサイトで役に立ったと感じたコンテンツは何ですか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

がん登録・がん統計について, 94
 全国の地域がん登録室情報, 64
 学術集会案内・プログラム・抄録集アーカイブ, 52
 がん登録が役立った例, 39
 協議会概要, 37
 刊行物バックナンバー, 24
 関連資料, 21
 リンクページ, 15
 会員向け調査票などのダウンロード, 10
 問い合わせフォーム, その他, 0
 役に立たなかった, 0
 3



- 1 協議会概要
- 2 学術集会案内・プログラム・抄録集アーカイブ
- 3 がん登録・がん統計について
- 4 がん登録が役立った例
- 5 刊行物バックナンバー
- 6 会員向け調査票などのダウンロード
- 7 全国の地域がん登録室情報
- 8 関連資料
- 9 リンクページ
- 10 問い合わせフォーム

Webサイトについて (3)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問17.協議会のウェブサイト上にあるといいと思われるコンテンツについて、つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

地域がん登録に関するQ&A 掲示板,

190

会員限定サイトによる、会員名簿一覧,

38

賛助会員や関連企業のための情報ページ,

29

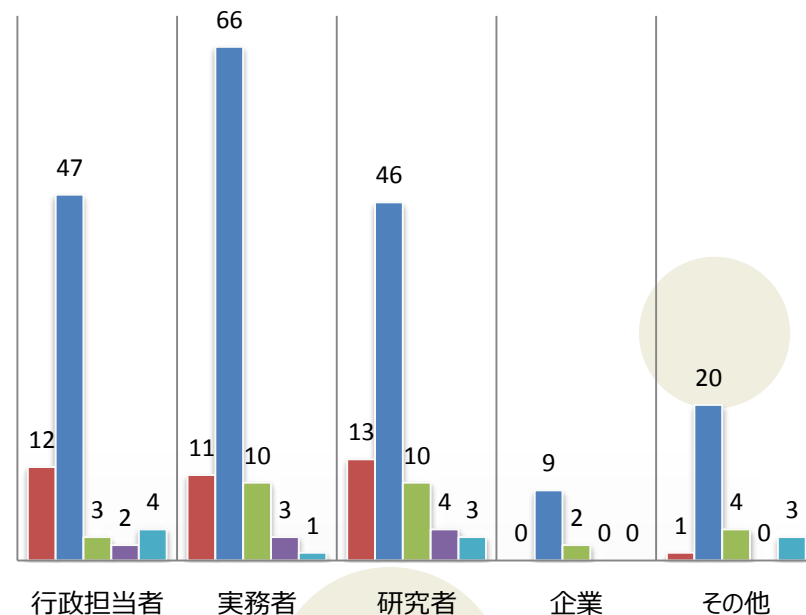
特にない,

12

その他,

9

- がん登録の実施に当たっての教育プログラム全般
- ウェブサイトを見てないのでわからない
- できれば最新の我が国のがん登録データの公開
- 地域がん登録の実務作業を行っている場所の住所と担当課と連絡先があると他府県への協力ができる
- 統計情報
- 地域がん登録のデータを利用した様々な統計など
- ダウンロードできるデータ
- 地域がん登録データ等を活用された各県（個人）の統計・集計論文など
- 海外の情報へのリンクの充実



- 1 会員限定サイトによる、会員名簿一覧
- 2 地域がん登録に関するQ&A 掲示板
- 3 賛助会員や関連企業のための情報ページ
- 4 その他
- 5 特にない

- 拝見したことがないのでわからない
- 見ないので
- 使用したことがない
- 活用することはない

調査・研究事業について (1)

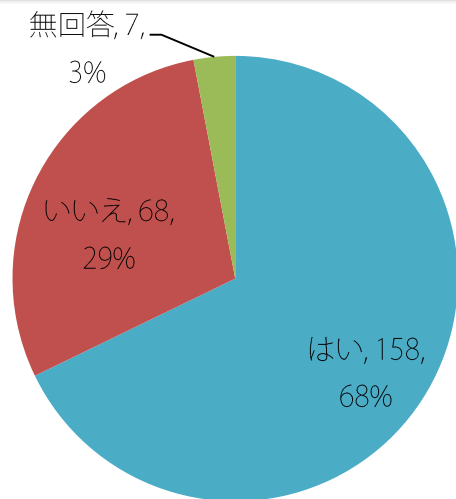


特定非営利活動法人

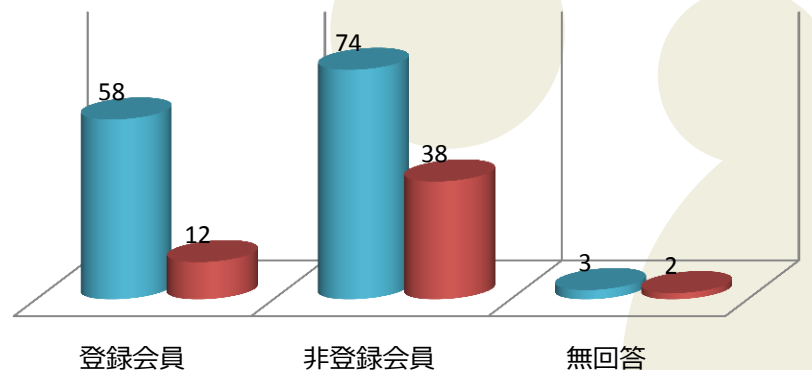
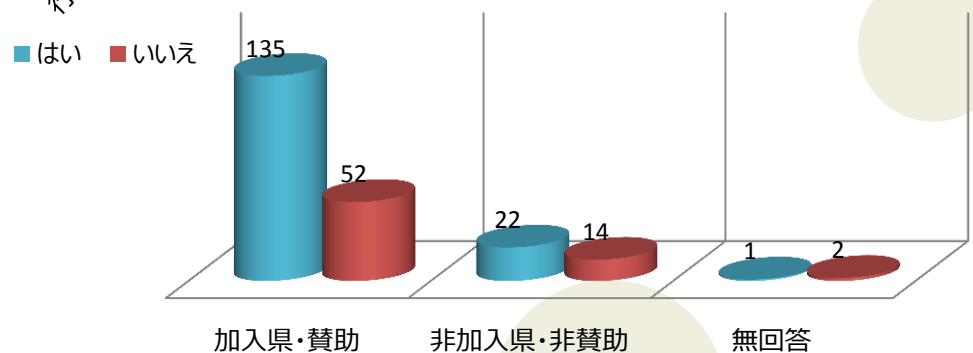
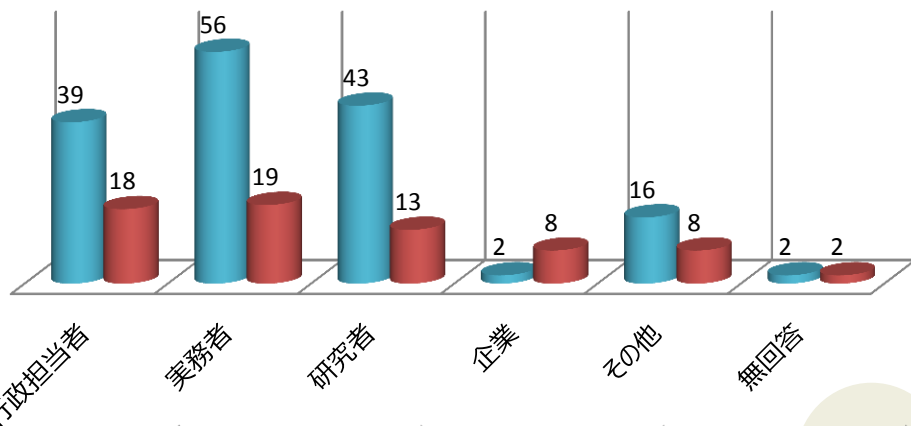
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問7. 協議会は、がん統計、がん登録に関する調査及び研究事業として、各登録の事業実施状況や、業績、刊行物を調査し、報告書にまとめています。また、厚生労働省科学研究費による研究班より「全国がん罹患モニタリング集計 (MCIJ)」の一部を受託業務として実施しています。このような協議会による調査及び研究事業をご存知ですか？



MCIJ集計の受託事業認知度は、68%と高い。特に、実務者や研究者の認知度が高い。また、登録・非登録に関わらず協議会の調査・研究事業について認知していることがわかった。



調査・研究事業について (2)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問18.協議会によるがん統計、がん登録に関する調査及び研究事業として、今後どのような調査、研究が実施されるといいとお考えですか？
つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。（複数選択可）

がん登録情報を利用したがん対策の実例調査,
168

全国のがん登録情報を利用した地域別がん罹患統計調査,
124

地域がん登録実施県の近隣他県との連携に関する意識・実態調査,
84

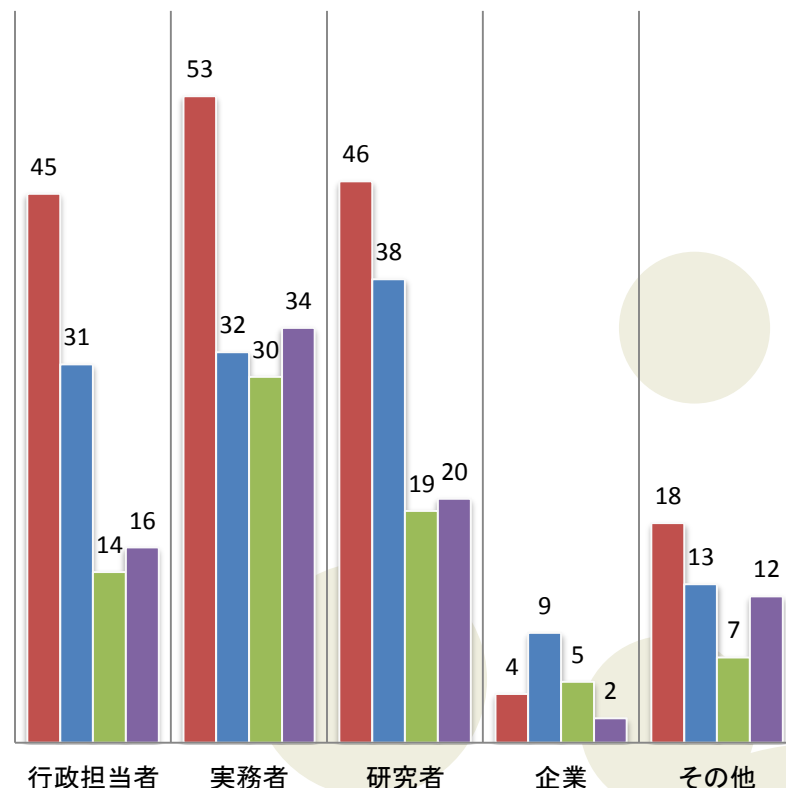
全国における地域がん登録実務者の育成システムに関する調査,
76

特にない,
6

その他,
5

- 地域がん登録の法制化に向けた事業（死亡データの活用を踏まえて）
- がん登録事業を感染症のように法制化する
- 抗がん剤のヒストリカルコントロールになるようなデータを出してほしい
- 調査ではなく、制作活用のための技術支援

- 調査・研究は研究班が行えばよい
- 国がんで実施することで足りる



- 1 がん登録情報を利用したがん対策の実例調査
- 2 全国のがん登録情報を利用した地域別がん罹患統計調査
- 3 全国における地域がん登録実務者の育成システムに関する調査
- 4 地域がん登録実施県の近隣他県との連携に関する意識・実態調査

IACR協力事業について (1)

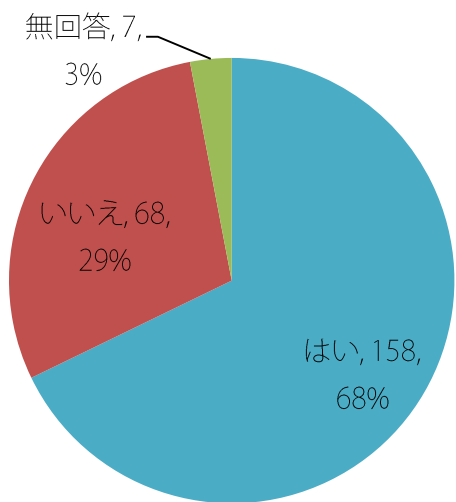


特定非営利活動法人

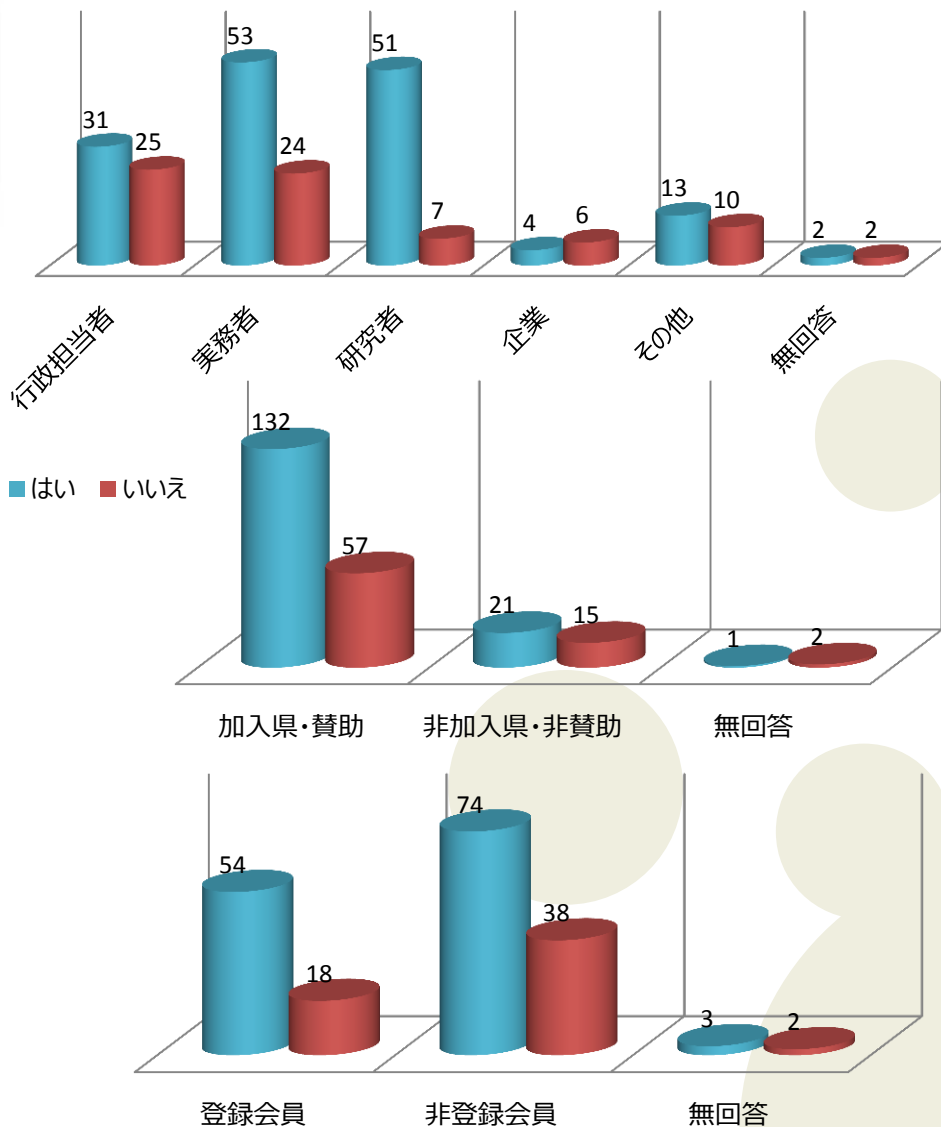
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問8. 協議会は、世界保健機構（WHO）の公式な関連組織である国際がん登録協議会（International Association of Cancer Registries; 以下IACR ; <http://www.iacr.com.fr/>）の会員となり、IACRへの参加協力事業を行っています。IACRをご存知ですか？



実務者、研究者の認知度が高いのに対し、行政担当者は回答者の半数近くが、IACRを知らないと答えている。また、企業の認知度も低い。



IACR協力事業について (2)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問19.国際がん登録協議会（IACR）の会員として協議会に期待する事項を、つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。（複数選択可）

IACR学術集会等で発表された国際的がん登録情報の共有
177

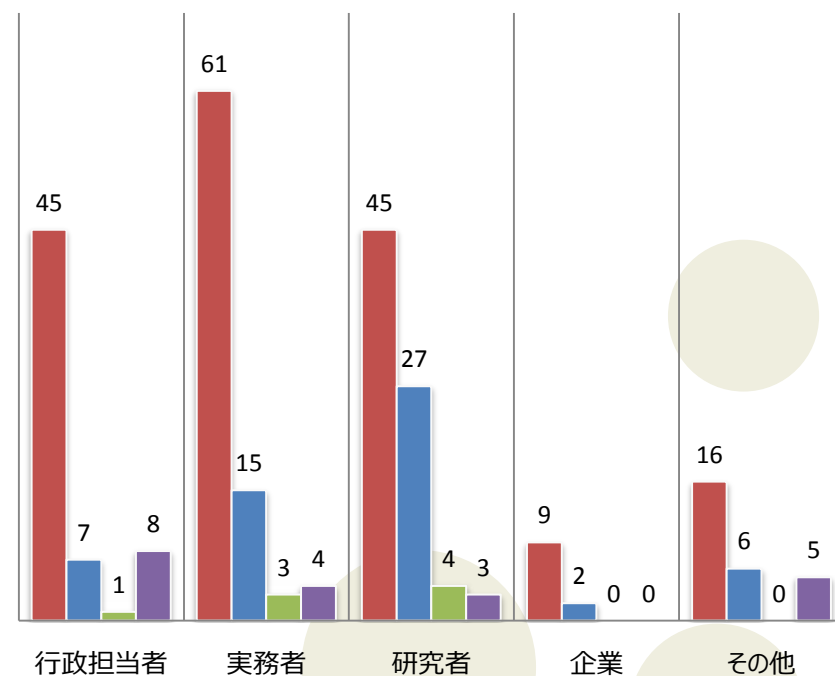
英語版ウェブサイトの公開による世界に向けた日本の地域がん登録に関する情報発信、
58

特にない、
22

その他、
8

- まずは、医師、看護師等子メディカルスタッフへの事業アピール、また、事業の法制化及び医師への登録票提出の義務化
- 日本の地域がん登録の向上に向けて指導的役割を担ってほしい
- ゲノム時代への対応
- IACRの情報を日本語化して国内に伝えること
- アジア諸国のがん登録データのとりまとめ
- 1の項目に絡み、英語版を日本語訳で紹介。大学病院や疫学研修者がいない登録室では英語の資料や書類等に戸惑いがあり、つい避けなくなるし、訳するのに時間がとられる
- 近隣アジア、特に韓国・台湾・中国のがん登録との交流
- 海外の情報へのリンクの充実

- よくわからない
- 会員となっている必要性に疑問
- 国際的なところまで視野が及んでいないため
- わかりません



- 1 IACR学術集会等で発表された国際的がん登録情報の共有
- 2 英語版ウェブサイトの公開による世界に向けた日本の地域がん登録に関する情報発信
- 3 その他
- 4 特にない

表彰制度について (1)

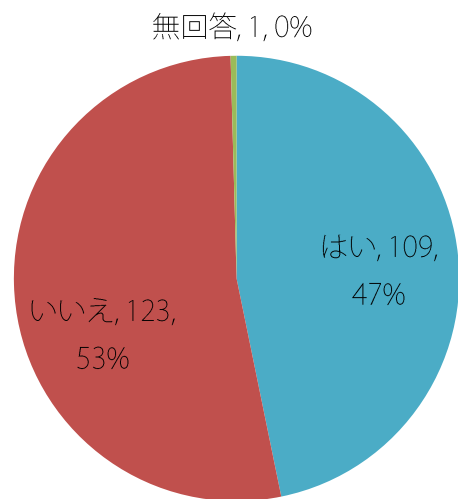


特定非営利活動法人

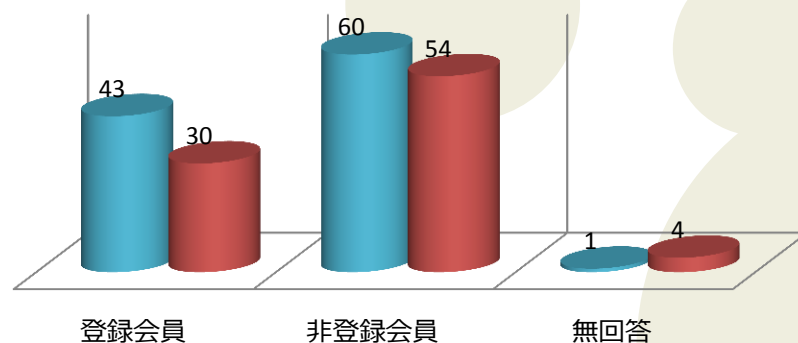
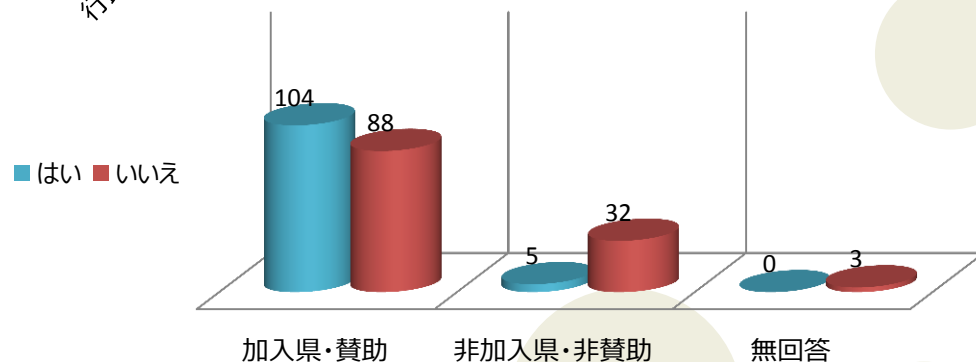
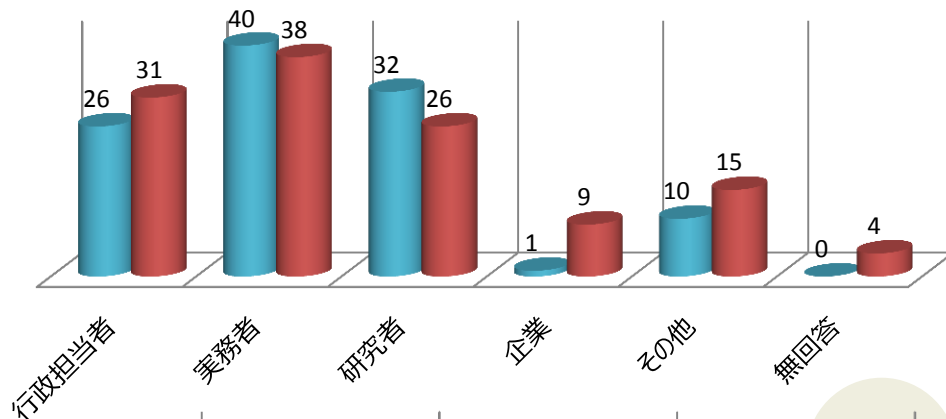
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問9.協議会では、人材育成事業の一環として、各地域がん登録において事業の推進、長年にわたる登録実務など、事業に貢献された方々に感謝状を贈る「表彰制度」を設け、今まで多くの地域がん登録実務担当者表彰してきました。今後は、表彰制度の内容を見直し更なる充実を図るよう制度の改正を進めています。協議会の「表彰制度」をご存知ですか？



行政担当者、未加入県の認知度の低さがうかがえる。



表彰制度について (2)

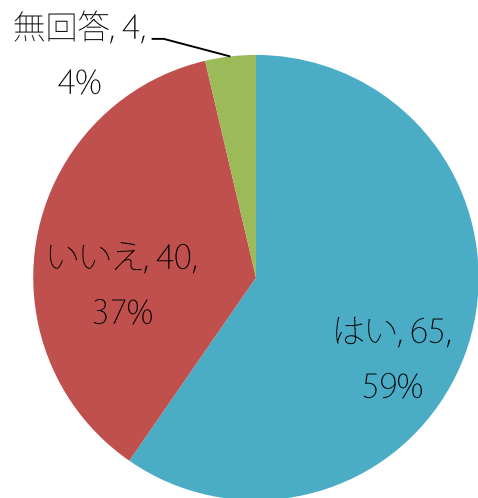


特定非営利活動法人

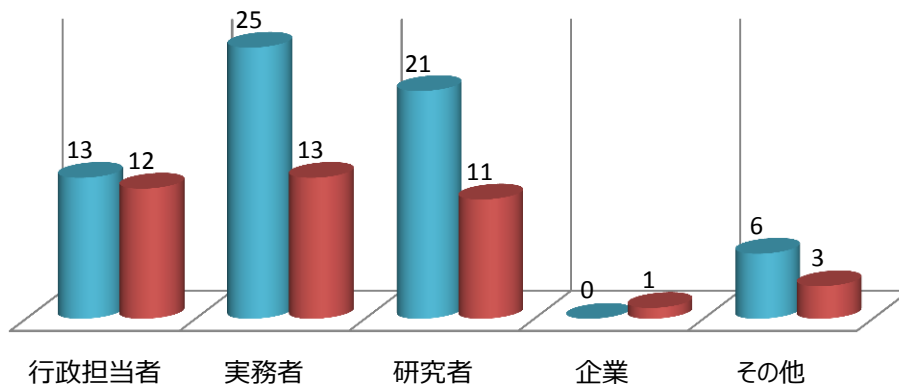
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

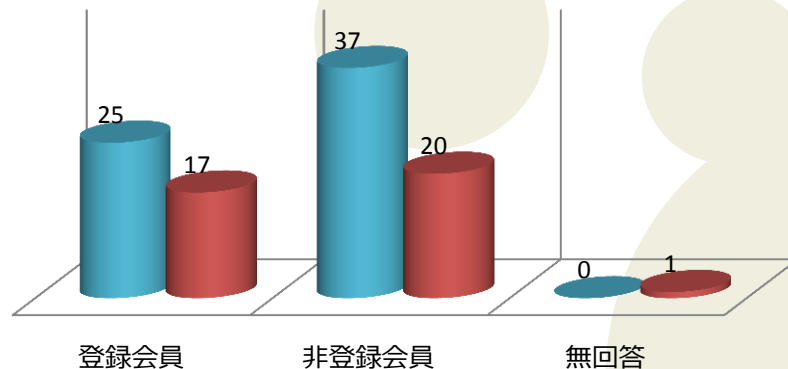
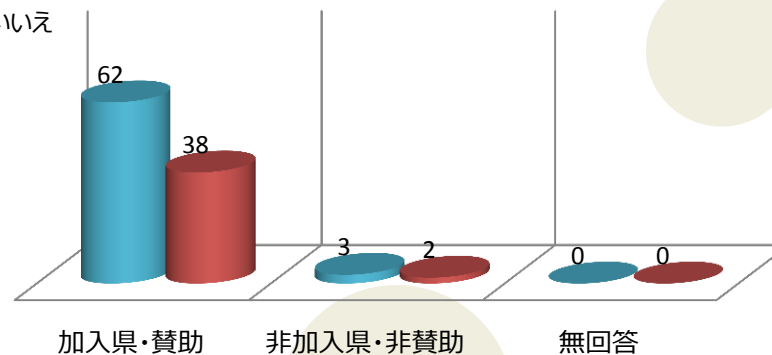
(問9で、はい、と回答した方のみにお聞きます)
問10.協議会の「表彰制度」に関心がありますか？



実務者と研究者の、はいといいえの割合が2:1
に対し、行政担当者は半々と、関心が低い。



■ はい ■ いいえ



表彰制度について (3)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問20.協議会ではこれまで、研修会による地域がん登録実務者の育成や表彰制度などの人材育成事業を実施してきましたが、今後どのような人材育成事業が実施されるといいとお考えですか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。（複数選択可）

レベル別、エリア別実務者講習会

123

地域がん登録データを活用したがん政策立案セミナー、

114

データ解析講座、

111

若手研究者育成のための表彰制度や研究助成制度、

64

事業推進、登録実務に貢献した人材に対する表彰制度、

47

特はない、

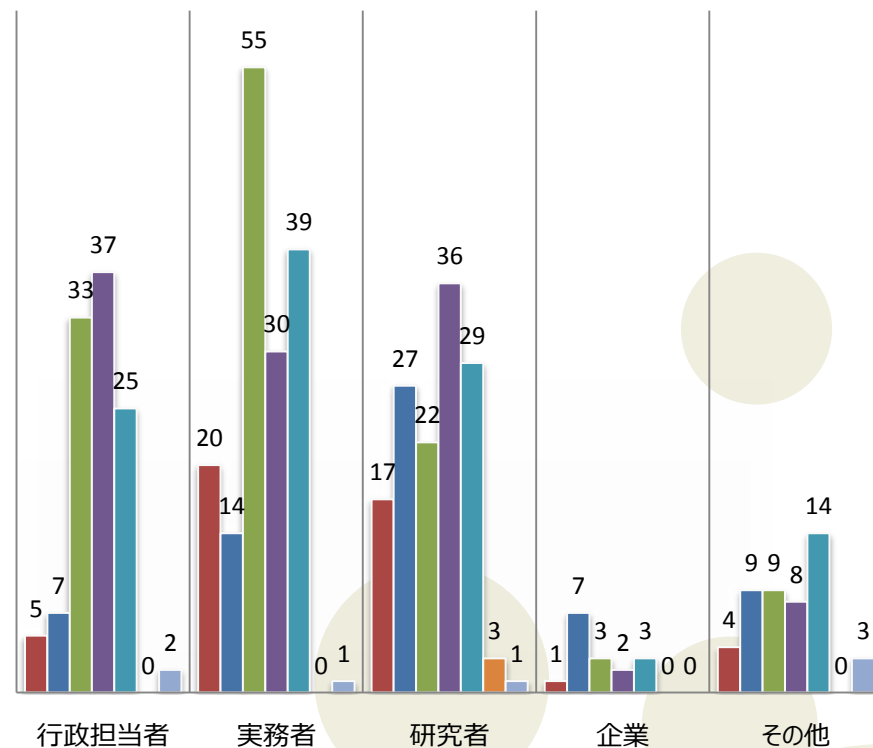
9

その他、

3

- 他分野との交流
- 県どうしの情報交換を促進する事業
- 他のがん登録実務者の研修を一定期間受け入れる制度づくり

- 協議会の役割ではない
- 表彰制度には疑問?です。
- わかりません



- 1 事業推進、登録実務に貢献した人材に対する表彰制度
- 2 若手研究者育成のための表彰制度や研究助成制度
- 3 レベル別、エリア別実務者講習会
- 4 地域がん登録データを活用したがん政策立案セミナー
- 5 データ解析講座
- 6 その他
- 7 特はない

機密保持ガイドラインの策定・公表 及び認定事業について (1)

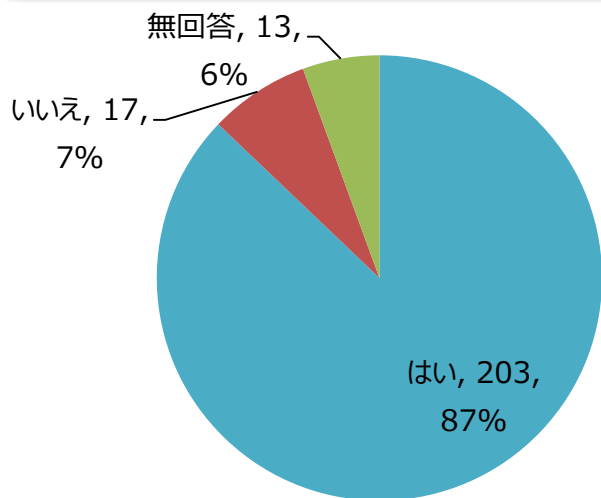


特定非営利活動法人

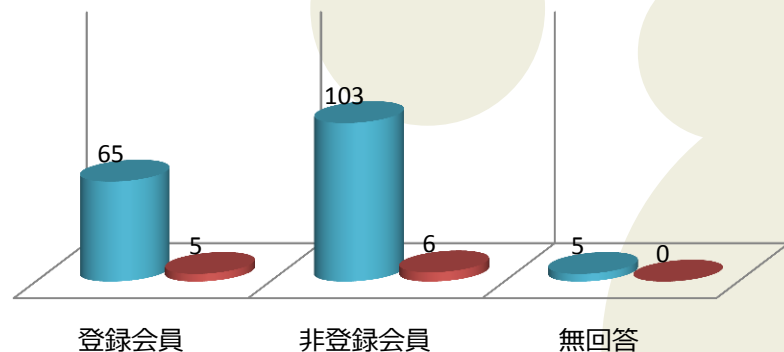
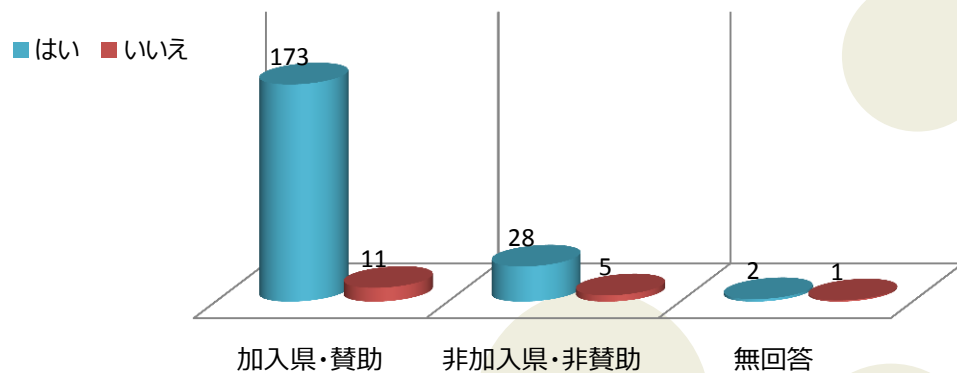
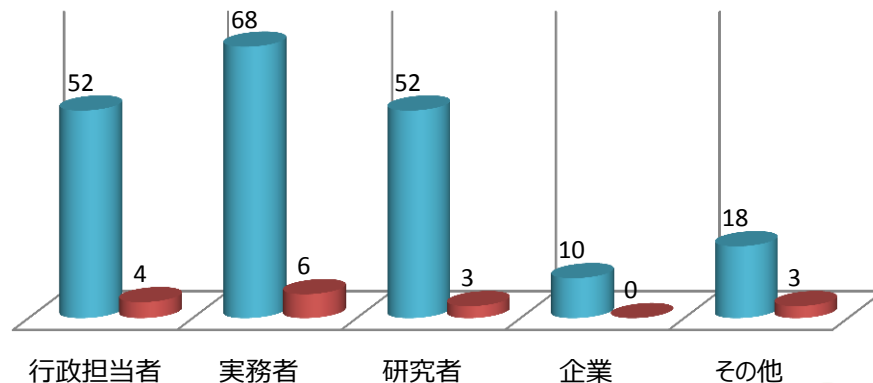
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問11. 協議会では、厚生労働省科学研究費による研究班が、地域の状況を考慮しつつ外部専門家の支援を得て定めたがん登録室の機密保持ガイドラインを再検討し、それに基づいた認定事業の実施を計画しています。協議会による機密保持ガイドラインの策定・公表及び認定事業の実施は有益と思いますか？



ほぼ90%が、事業を有益と考えている。



機密保持ガイドラインの策定・公表 及び認定事業について (2)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問21.がん登録室の機密保持ガイドラインの策定・公表・認定等に関連して、協議会はどのような事業を実施すればいいとお考えですか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

がん登録室における機密保持に関するガイドライン本の発行、
157

がん登録室の機密保持に関する認定事業、
83

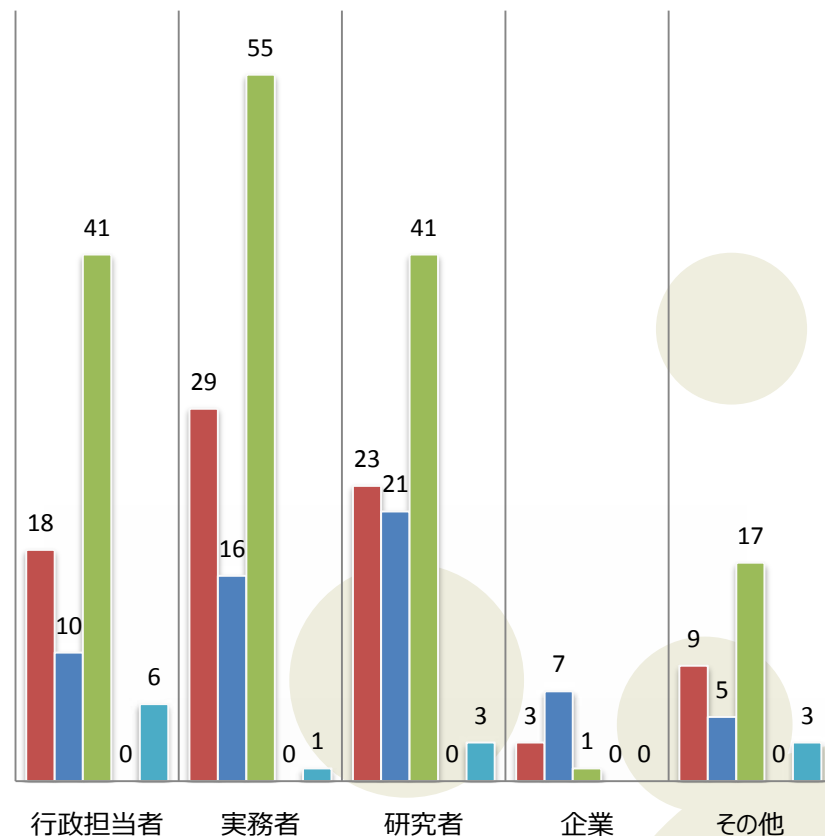
がん登録室における機密保持に関する専門家育成事業、
60

特にない、
14

その他、0

- 国がん祖父江班で行われていることと重なっているようで、すみ分けがよくわかりません。

- 国がん等他の機関もあるのでわからない
- 専門的で、判断がつかない
- 当事者の色合いが強すぎるのではないか
- できているように思うから
- 上記活動により過度に機密保持が強調されること考えられる



- 1 がん登録室の機密保持に関する認定事業
- 2 がん登録室における機密保持に関する専門家育成事業
- 3 がん登録室における機密保持に関するガイドライン本の発行
- 4 その他
- 5 特にない

一般向けパンフについて (1)



特定非営利活動法人

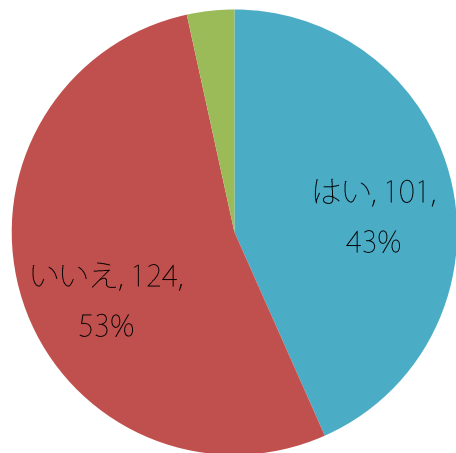
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

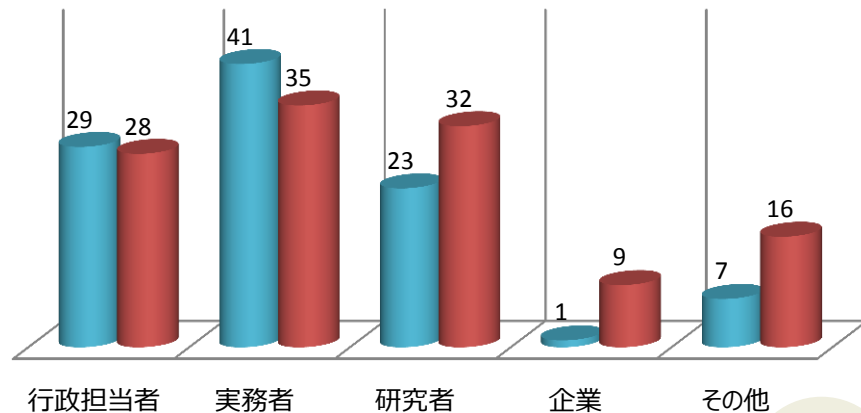
問12. 協議会では、『あなたと子孫と人類のために～未来へつづけ、私たちの地域がん登録』と題し、地域がん登録事業の啓発と発展のために作成した一般向けのパンフレット（変形6ページ・カラー・2008年版；

<http://www.jacr.info/publication/jpn.html>）を、厚生労働省科学研究費による研究班と共同で発行し、配布協力して下さる団体、個人の方に、無料（送料別）で提供しています。当パンフレットをご存知ですか？

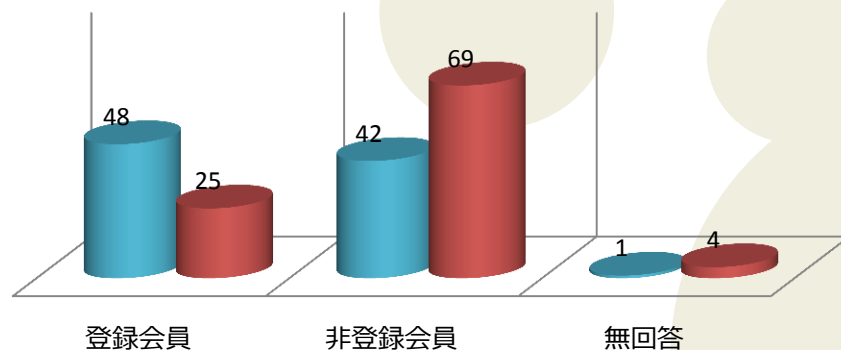
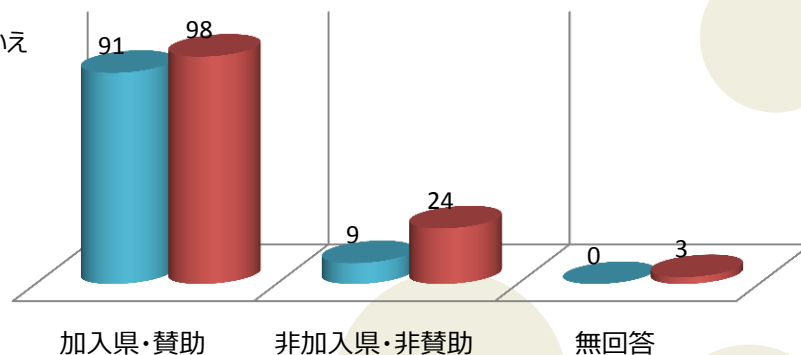
無回答, 8, 4%



2008年作成当時の全加入県に無料配布したが、3年経過する現在、行政担当者の半数近くがパンフのことを知らないと回答。また、企業への働きかけも検討されたい。



■ はい ■ いいえ



一般向けパンフについて (2)

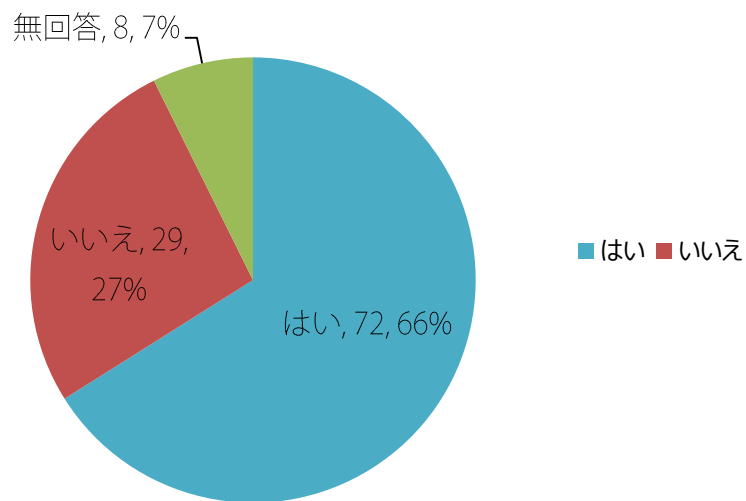


特定非営利活動法人

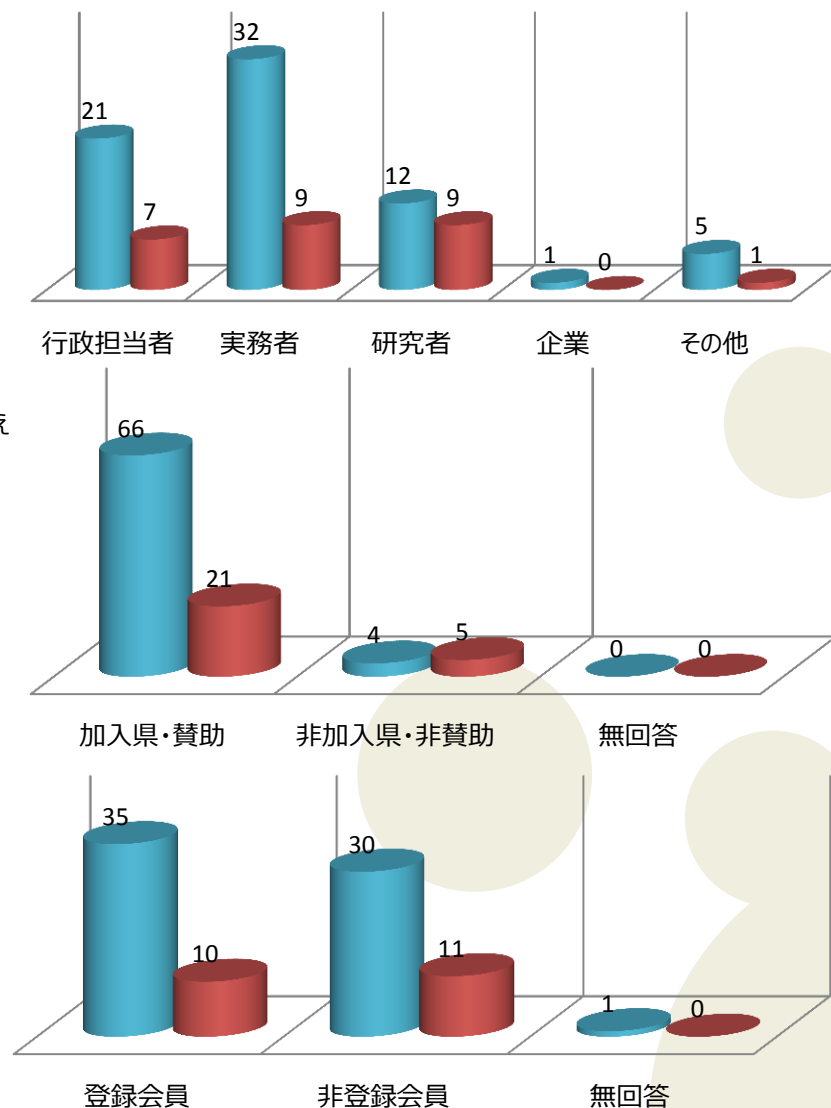
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

(問12で、はい、と回答した方のみにお聞きします)
 問13.無料提供している一般向けパンフレットを配布したいと
 思いますか？



在庫も潤沢にあることから、再度一斉配布することを早急に検討したい。
 非加入県の関心が低いのは、事業に対する姿勢と関係があるか？



一般向けパンフについて (3)



特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問22. 地域がん登録に関するポスターやパンフレット、冊子、刊行物等であると思うものを、つぎの選択肢のうちあてはまるものを選んでください。(複数選択可)

医療機関向けの地域がん登録協力要請ポスター又はパンフレット、
153

一般市民向けの地域がん登録啓蒙ポスター又はパンフレット、
141

行政向け地域がん登録の解説書、
102

世界の地域がん登録に関する文献の日本語翻訳版の刊行、
47

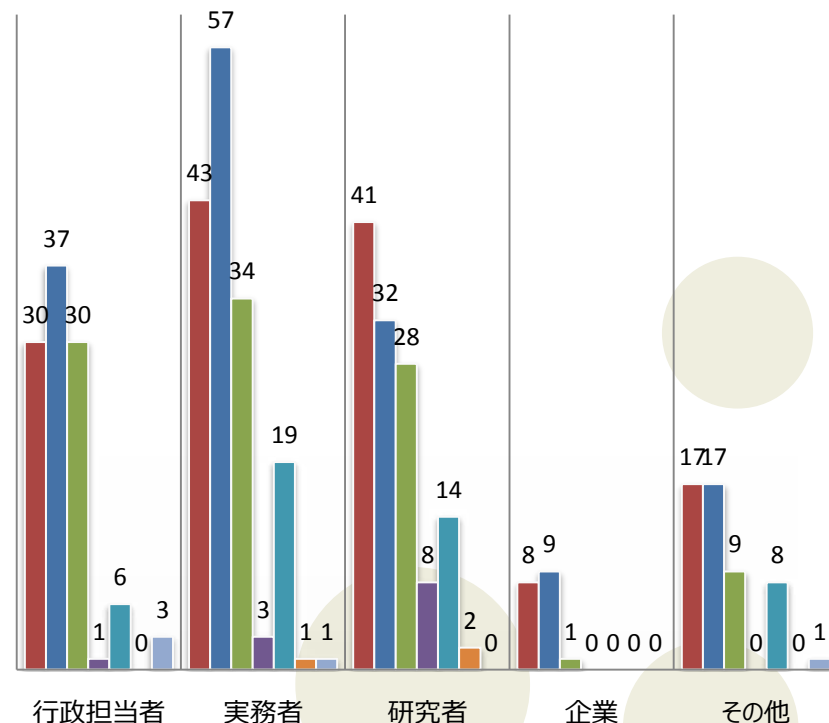
英語版の地域がん登録ポスターやパンフレット、
12

特にない、
5

その他、3

- がん登録の制度指標についての情報管理や文献の情報
- 啓蒙という表現について、当職場では30数年前から不適切用語（高飛車で上から目線に感じられる）として使用せず「啓発」としていますので、個人的にはとても気になります。
- わかりやすいデータの説明書

- わからない
- 現行制度のPRよりも制度自体の法的位置づけが重要
- 使う予定がない



- 1 一般市民向けの地域がん登録啓蒙ポスター又はパンフレット
- 2 医療機関向けの地域がん登録協力要請ポスター又はパンフレット
- 3 行政向け地域がん登録の解説書
- 4 英語版の地域がん登録ポスターやパンフレット
- 5 世界の地域がん登録に関する文献の日本語翻訳版の刊行
- 6 その他
- 7 特にない

関係組織の役割について

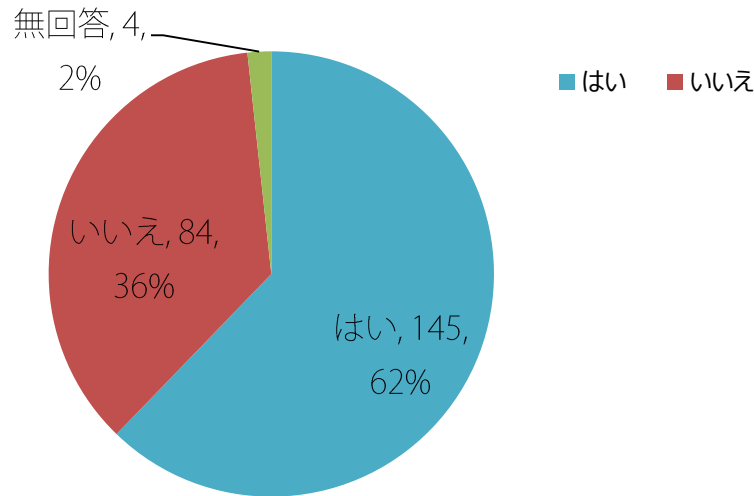


特定非営利活動法人

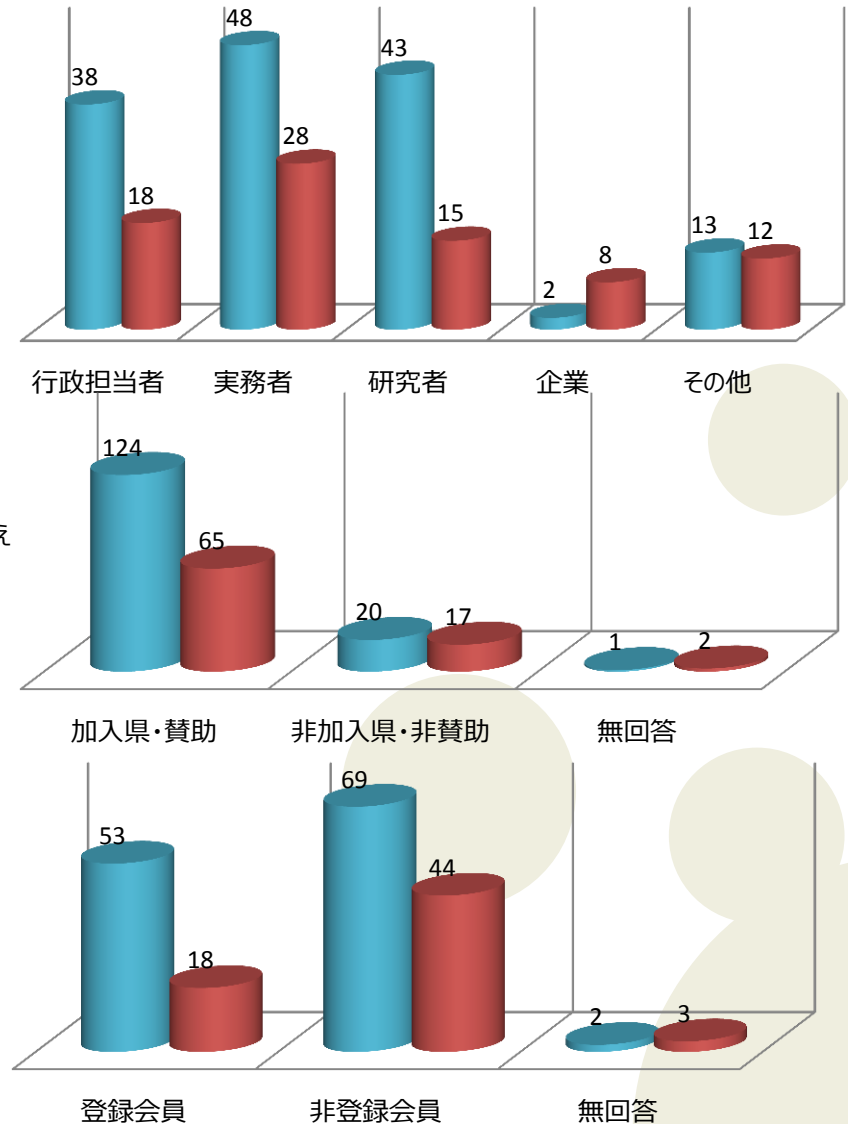
地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問14.全国規模で地域がん登録事業に関わる組織として、国立がん研究センター（以下、国がん）、「がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究」班（研究代表者：国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部部長 祖父江友孝）（以下、祖父江班）、そして、本協議会があります。役割として、国がんは国からの事業促進予算を得て地域がん登録の促進を、祖父江班は精度向上と標準化を、そして協議会はそれら関係機関と連携し、地域がん登録事業の充実と発展のために活動を展開しています。これら組織とそれぞれが担う役割を、ご存知ですか？



行政担当者の32%が国がん、祖父江班、協議会の担う役割を知らない、と回答。



協議会活動への参加協力について

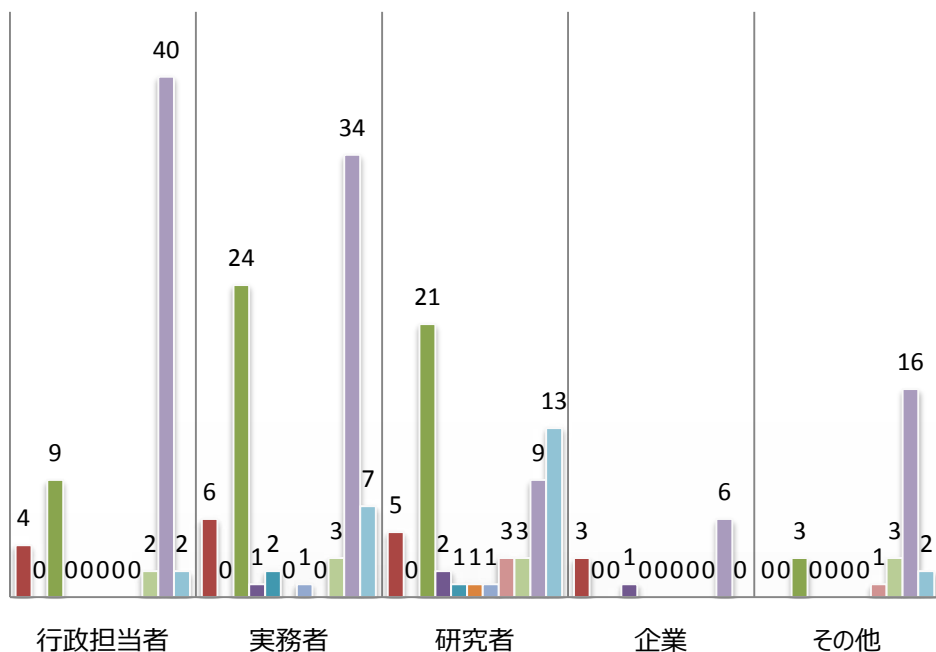


特定非営利活動法人

地域がん登録全国協議会

Japanese Association of Cancer Registries

問22. 協議会活動に参加・協力したいと思いますか？ つぎの選択肢のうちあてはまるものを一つ選んでください。



- 1協議会による広報活動に参加してみたい。
- 2『JACR Newsletter』の編集委員をしてみたい。
- 3調査、研究事業において協力したい。
- 4協議会の国際活動に参加（協力）してみたい。
- 5協議会の研修プログラムなどを企画してみたい。
- 6協議会による刊行物発刊事業に関わってみたい
- 7協議会の活動計画や運営に携わってみたい。
- 8協議会の活動に専門家として参加協力したい。
- 9その他
- 10特にない
- 無回答

調査、研究事業において協力したい。	57
協議会による広報活動に参加してみたい。	19
協議会の国際活動に参加（協力）してみたい。	4
協議会の活動に専門家として参加協力したい。	4
協議会の研修プログラムなどを企画してみたい。	3
協議会の活動計画や運営に携わってみたい	2

- 学術集会、後援会への参加希望
- 院内がん登録実務者としてできる協力があれば
- 協議会からのアンケート調査等への協力・機能評価など
- 参加・協力については必要に応じて判断する

- 実務者ではないため
- 多忙なため、余力がない、形式会員のため（類似コメント10件）
- 行政で専門的知識がない
- 専門性の高い業務と考えるから、敷居が高い、知識がない（4件）
- 地域がん登録未実施のため（2件）
- 現時点でがん登録に直接かかわっていないから
- 協力できるノウハウを持っていない
- 直接的に参加協力することは難しい
- 協議会自体の必要性を検討すべき
- 自分のレベルは協力できるようなところがないため、立場ではない（2件）
- 行政担当者であるため、数年で担当替えがあると思われ、長く研究等に携われないため
- 現役引退、一線を離れている（3件）
- 協議会活動内容を把握していないので返答できない